

地域住民の経験や知識、知恵を結集！井野の魅力を再発見！！

公民館名	井野公民館	人口（令和2年12月）	644人
		世帯数（　　〃　　）	335戸

1 公民館で力を入れてきたこと、これからも続けたいこと

井野の自然環境、伝統文化等、郷土の良さを再発見し、一方地域の抱える課題解決に向けた活動を、コミュニティづくりとともに進めた。地域住民らの培われた知識や経験、知恵を存分に活かした活動をと考え、支援し実践してきた。

少子高齢化、人口減少に歯止めがかからない状況ではあるが、新たな事業を立てるのではなく、現状の事業の見直し等を丁寧に行い、公民館が拠点となり地域づくり、まちづくりを実践していきたい。

2 特色ある活動や行事・取組等の実践事例

「ひと・もの・こと」を最大限に活かしたふるさと郷育
～春の山菜セミナー・歴史探訪・井野の夏まつり・竹水鉄砲づくり～



春の山菜セミナー



歴史探訪セミナー



井野の夏まつり

大入学と題して毎回テーマを設け、井野とかかわりのある人物、土地へ出かけ学び直しを行った。

井野在住 20代～60代の若手が企画した井野の夏まつり。世代を超えた大同窓会をイメージし、在住者と出身者とその家族がつながるきっかけとなった。いずれは定住につながることを期待している。公民館は、会場提供、文書発送などの事務的支援をおこなった。



大人も子どもも一緒に遊ぼうぜ！

竹細工を得意とする高齢者を講師に迎え、昔ながらの竹水鉄砲をつくり、大人も子どもも一緒になって遊んだ。

高齢者とかかわることで顔見知りとなり、地域の一員だとの認識が由来、また地域の方々に見守られているという安心感がうまれたようだ。